

平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 北九州市 】

1 実践テーマ	【 Ⅲ 】
2 実施対象者	北九州市立戸畑中央小学校 6年生 117名（講演会は全校689名）
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p>① 教科名（ 総合的な学習の時間 ）</p> <p>② 行事名（ ）</p> <p>③ その他（ ）</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>① イベント名（ ）</p> <p>② その他（ ）</p>
4 目標 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ゴールボールや車いすバスケットボールの選手の方の話を聞いた り、一緒にプレーしたりすることを通して、誰もが気持ちよく生き るために必要なことについて自分の考えをもち、実践していこうと する心情を養う。</li> <li>・ 障害をもった方々の苦勞や工夫を知り、障害をもった方々と共生 する社会について考える。</li> </ul>
5 取組内容	<p>取組①「ゴールボール選手との交流」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ ゴールボールの競技がどんな競技なのか調べる。</li> <li>○ ゴールボールパラリンピック金メダリスト浦田理恵選手につ いて知る。</li> <li>○ 浦田理恵選手の講演を聞く。</li> </ul> <div style="text-align: center;">  <p>《浦田理恵選手の講演の様子》</p> </div>

- 浦田理恵選手と実際にゴールボールの体験をする。



《浦田理恵選手とゴールボールを体験する子どもたち》

- 講話や体験を通して感じたことをワークシートにまとめるとともに、障害をもった方々と共生する社会について考える。

取組②「車いすバスケットボール選手との交流」

- 車いすバスケットボールについて調べる。
- 交流する選手たちの母国であるタイについて調べる。
- 歓迎のための横断幕をつくる。
- タイの車いすバスケットボール選手と交流する。
  - ・自己紹介
  - ・質問コーナー
  - ・一緒にバスケットボールを体験する。



《タイ選手との交流会の様子》

- 国際車いすバスケットボール大会を観戦する。
- 交流や観戦を通して感じたことワークシートにまとめる。

<p>6 主な成果</p>	<p>何よりも実際にオリンピックや世界大会で活躍している選手の話 を聞いたり、一緒に競技を体験したりできたことが大きな成果である。 また、子どもたちは、選手たちがプレーしている姿やこれまでの 生き方・考え方に触れることで、その生き方や考え方に共感すると ともに、これからの自分の学校生活にも生かしていこうという気持ち をもつことができた。このことは、以下に示す体験後の子どもたちの 感想からも伺える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p><b>【児童の感想より】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 浦田さんの話から僕は、たくさんのことを教わりました。 もし失敗しても、何があっても勇気を出してそこに挑戦する。 そこではなかなかうまくいかないこともあると思うけど、 そこに向かってあきらめずにやるということが、最近あきらめる ことが多かった僕には、とても大きく感じました。</li> <li>○ 浦田選手のお話を聞くことができよかったです。障害のある 生活の大変さや、ゴールボールの楽しさ、浦田選手の生き方を 学び、これからの学校生活に生かしていきたいです。ゴール ボールにはあまり興味がなかったけど、これを機に東京 オリンピック・パラリンピックの試合を見ようと興味 がわいてきました。</li> </ul> </div>
<p>7実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 現役のパラスリートを招聘し、子どもたちに本物のプレーの すごさを体感させた。</li> <li>○ 実際に競技で使われているゴールボールのコートを体育館に再 現し、子どもたちにも実際の試合と同じ状態でゴールボールを体 験させた。</li> </ul>
<p>8主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 現役の選手を招聘するには、日程の調整が難しい。できれば、 招聘できる選手や期間をまとめたリストなどを提供していただ きたい。</li> <li>○ 本校は学校規模が大きいので、全ての学年に体験の場を設定 するのは難しく、どうしても高学年が中心となってしまう。</li> </ul>
<p>9来年度以降 の実施予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ オリンピックやパラリンピックに出場経験のある選手を招聘し、 子どもたちと交流を行う。</li> <li>○ 総合的な学習の時間を活用して、オリンピックやパラリンピック の歴史・競技種目などを調べて発表する活動を行う。</li> <li>○ オリンピックやパラリンピックの競技種目の中からいくつかを 選び、校内または学年オリンピックを開催する。</li> <li>○ 2020東京オリンピック・パラリンピックに出場する国々につ いて調べ、応援フラッグの作成を行う。</li> </ul>